

深谷昂史雑文集より 2

《2000 年を迎えて》 私の「最後」の一年

私は小さいころからずっと、自分が 21 世紀までは生きられないと思っていたが、それはどうしてか。私にもはっきりとはわからない。

私は小さいころ体が弱くてよく病気をしたので、自分の将来に対して、特に体についてはかすかな不安を抱いていた。それが、私が長いこと自分が長生きできないと思っていた理由だろう。

若い頃は、このような予感がとつぜん頭をかすめると、心中穏やかならざるものを感じたが、いつも小さな声でこう言って自分を慰めた。

「人というものは、ただ意識せぬまま長寿を追い求めるべきではない。歳をとって何ら為すところなくいたずらに年月を送るのであれば、それはもう、早くこの世を去るほうがましというものだ！」

しかし、なぜだかはわからないが、大人になってから私の体はだんだん丈夫になり、45 歳のときに胃潰瘍を患った以外に、ずっと健康でいた。それで時間が経つにつれ、体について持っていたあのいろいろな不安も、いつのまにか薄れていってしまっていた。

私は自然にこう思った。「このままいけば、私も 21 世紀まで生きられるだけでなく、古希まで生きるかもしれない」

三年ほど前、私は六十歳で退職し、中国から帰国した残留孤児の人たちの自立のためのボランティア活動に参加し、心の中でずっとあたためてきた計画を実行した。退職後、私は自由人となった。毎日起きたいときに起きる、寝たいときに眠る、ゴルフに行くのも釣りに行くのも自由自在、中国語を勉強する時間も多くなったのは言うまでもない……。

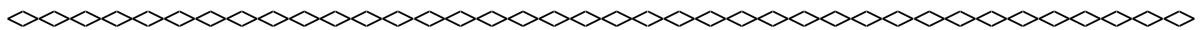
しかし、よいことは長くは続かない。ほどなくして、とつぜん私が脳梗塞に倒れるなどとは、いったい誰が知っていたらう！

今年は2000年、二十世紀最後の一年である。もし私のあの予感が的中しているとしたら、私の最後の一年である。この一年をどのようにして過ごせばいいのか。私にははっきりとはわからない。どっちにしろ、ぶらぶらと遊んで日をすごすのは良くない。自分の体を大事にし、毎日毎日を大事にし、人事を尽くして天命を待とう。 (2000年1月)



私は現在75歳になった。病多くして体は衰え、棺桶に片足を突っ込んでいる。しかるに、もはや怖れるものは何もない、死さえ怖れはしない。「カメがはかりの分銅を飲み込む——決心を固くする①」と言うべきであろう。

①原文は「王八吃秤砣——鉄了心」という歇后語（xiēhòuyǔ）で、前の句だけ言って後の句を推測させることば遊びの一。



中国語原文 《迎接2000年》 我“最后”的一年

我这个人从小就一直以为自己不能活到21世紀，为什么呢？我也说不清楚。

我小时候身体不好，容易生病，因此对自己的将来，特别是对于身体我总是隐隐感到不安，这也是我长时间认为自己不能活得长久的理由。

年轻的时候，每当这种预感掠过心头，我就会觉得心中很不舒服，总是嘟嘟囔囔安慰自己：

“人呢，不应该只不知追求长寿，年老以后无所事事、虚度光阴的话，

哼，这倒不如早些去世！”……

可是不知道为什么，成年以后我身体渐渐地好起来了，除了 45 岁时患过胃溃疡以外我一直健康，所以随着时间的推移，对身体的那些不安也不知不觉淡薄下去。

我很自然的觉得：照此下去的话，我不但活得到 21 世纪，就是活到“古稀”也是有可能的。

大约 3 年前，我 60 岁退休了，开始参加帮助那些残留孤儿等从中国归国者自立的自愿活动，心中酝酿已久下来的计划付诸实行了。

退休以后，我成为一个自由的人：每天想什么时候起床什么时候起床；想什么时候睡觉就什么时候睡觉；去打高尔球去钓鱼等都自由自在；学习汉语的时间也多了……

可好景不长，谁知道不久后我突然生了病得了脑梗塞！

今年 2000 年，是 20 世纪最后的一年，如果我的那个预感应验的话，也就是我最后的一年。那么，这一年怎么过好呢？我说不清楚。总之游手好闲地过日子不好，我珍惜自己的身体，也珍惜每一天，尽人事以待天命吧。

(2000 年 1 月)



我现在 75 岁了，病多体衰，行将就木。然而对我，已经没有什么可怕的了，连死也不怕，可谓王八吃秤砣 —— 铁了心！

